

## 子どもと大人が子どもの権利について語る会

コロナ禍でお休みしていた「子どもと大人の合同ワークショップ」。昨年度から、対象を変えて再開しました。

### ☆このワークショップの目的は

子どもの権利に関する条例が制定されてから、行なってきました。「子どもには権利があるんだ」「子どもの権利は身近なことだったんだ」「知らない大人と話してみよう」などの目的をもって、開催しています。

普及しようとする、広く浅くとなってしまうがちです。「権利」を子ども（0歳～18歳）に理解してもらおう！とすると、じっくりと話す（人と関わる）ということが心に残るのでは？とじわじわと浸透していく、ことをイメージしています。

### ☆今回も実りあるワークショップとするために

昨年、進め方を変更しました。その自治体さんには6つの小学校があるので、各学校から2人ずつ、合計12人に集まってもらって、大人と話す。ということをしていました。

参加する子どもを一つの小学校の6年生全員として、体育館で行うこととしました。さらに、進め方も、授業時間内に、権利の理解から身近なものだと思ってもらえるまでのステップが収まるようにしました。

大人（児童権利擁護委員、子どもの権利施策推進委員）さんと子どもたちが、どちらからも一方的な話ではない「対話」をしました。

### ☆感想は

子どもからは

- ・初めて会った大人と話したけど、ちゃんと話を聞いてくれて、うれしかった。
- ・大人がアドバイスしてくれたので、見方がちょっと変わった。

など、とっても楽しかった、権利がちょっと分かった。という声がたくさんありました。

大人からは、

- ・子どもは、大人が想像している以上に考えているんだなあ。

・短い時間だったが、直接、子どもの話が聞けて、今後の参考になった。などのコメントをいただきました。

\*直接、対等に「子どもの権利」について対話する！ということには、お互いに緊張していました。始まってしまえば、みなさん、真面目に楽しく対話をしてくださいました。（ちょっと難しい話題でした。照れ臭いと思う子もいるのでは？と懸念していました。が、まったくの取り越し苦労に終わりました。）

アンケートを拝見して、じっくりと話すこと（人と関わること）が大切だと思いました。

